

老人クラブ会員の方へ



平成26年7月

発行 広島県警察本部
交通部交通企画課

飲酒運転の根絶は県民の願い!

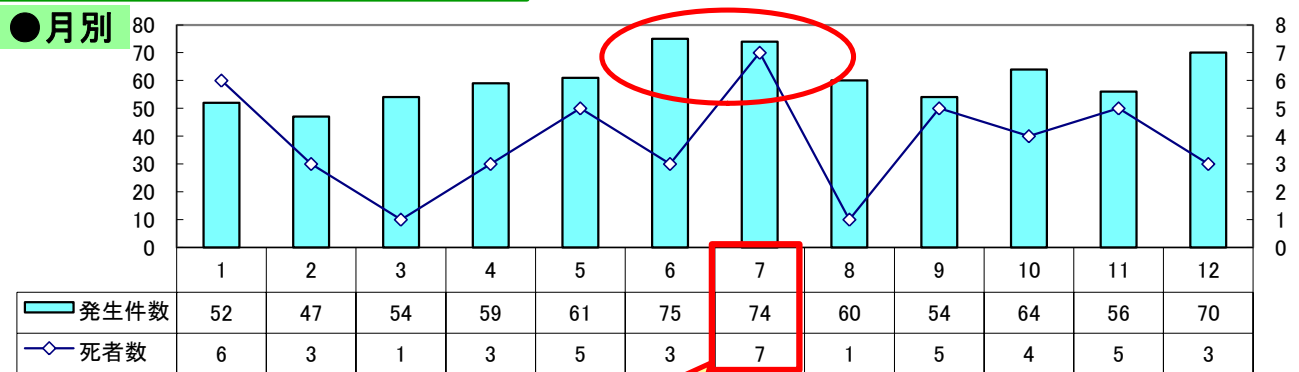


飲酒運転の根絶に向け、全力をあげて取り組んでいますが、飲酒運転は未だ跡を絶たず、何の落ち度もない方がその被害にあい命を落とすといった痛ましい事故が発生しています。

これから暑い時期を迎え、飲酒する機会が増えると思いますが、一人一人が「**飲酒運転は悪質・危険な犯罪**」であるということを肝に銘じ、みんなで飲酒運転の根絶を図りましょう。

飲酒事故(過去5年:H21~H25)

※ 歩行者を除く第一当事者に飲酒ありの事故



● 事故形態別構成率

「飲酒なし」より高い

7月は、発生件数、死者数ともに多い

	【飲酒なし】	【飲酒あり】
横断中	5.2%	2.8%
横断以外	3.6%	3.3%
追突	34.1%	35.0%
正面衝突	3.0%	10.9%
出合頭	25.5%	15.3%
追越追抜	1.4%	1.4%
右左折	15.1%	7.2%
その他の衝突	8.2%	8.5%
車両単独	3.9%	15.7%

飲酒運転をすると、追突・正面衝突・車両単独事故が増加する傾向にあります

【飲酒運転の危険性】

少量のアルコールでも



脳への影響

情報処理能力(視覚機能の減退等)・判断力・注意力の低下

運転への影響

発見の遅れ、反応の遅れ、操作の遅れ

● 高齢者の飲酒事故(状態別)

	四輪	二輪	自転車	計
事故件数	85	2	11	98
うち死亡事故	3	0	4	7

自転車は、死亡事故になる割合が36.4%と高くなっています

【飲酒運転を根絶するために…】

- ★ 酒を飲んだら絶対に車両(自転車含む)を運転しない
- ★ 酒を飲む席に車両を運転していかない
- ★ 車両を運する人に酒を勧めない
- ★ 酒を飲んだ人に車両を貸さない
- ★ 酒を飲んで車両(自転車含む)を運転しようとする人がいたら引き留める

